

令和元年度公害等苦情処理

単位：件

	大気汚染	水質汚濁	騒音	悪臭	空地雑草	動物、野犬	振動	土壌	その他	計
件数	29	7	4	8	38	59	0	0	19	164
率	18%	4%	2%	5%	23%	36%	0%	0%	12%	100%
内容	・野焼き	・河川油流出事故 ・魚のへい死	・店舗への搬入騒音 ・居酒屋カラオケ騒音 ・解体現場騒音	・病院浄化槽悪臭 ・アパート排水悪臭	・雑草の繁茂	・野犬 ・野良猫エサやり			・セアカゴケグモ発見 ・オオキンケイギク繁茂 ・解体現場砂ぼこり	
対応	・適正処理を依頼	・河川油吸着回収 ・現地確認 ・水質検査	・現地確認、事情聴取、対策依頼	・現地確認、事情聴取、対策依頼	・文書等による適正管理の依頼	・動物愛護センターへ捕獲依頼 ・地元協力			・県機関への確認、駆除 ・地元協力 ・現地確認、事情聴取、対策依頼	

令和元年度に環境課が受理した公害等苦情については164件ありました。苦情の中心は、野焼きによる大気汚染、空地等の草刈り依頼および野犬の捕獲依頼でした。

野焼きについては、原因者に苦情申立の内容を説明し、適正処理を依頼をしました。

空地の雑草の繁茂については、土地所有者に対し、通知文により適正な管理を依頼しました。

野犬の目撃情報については、環境課職員と愛知県動物愛護センターが出没箇所の巡回を行い、地元の要望があった場合には、愛知県動物愛護センターへ依頼し、檻の設置を行いました。檻の管理については、区長はじめ地元住民にご協力いただきました。

水質汚濁については、須美川への油の流出事故がありました。環境課職員、幸田消防により河川へオイルフェンスとオイルマットを設置し、国、県及び下流域隣接市の協力を得ながら、事故は収束に向かいました。

騒音については、居酒屋のカラオケ騒音、解体現場の騒音等によるものであり、それぞれ事情聴取等を行い、改善を求めました。

悪臭については、病院の浄化槽とアパートの排水の臭いによるものであり、管理者へ清掃の依頼を行いました。

※公害等苦情処理件数の推移

単位：件

	大気汚染	水質汚濁	騒音	悪臭	空地雑草	動物野犬	振動	土壌	その他	計
18年度	19	4	2	8	22	28	1	0	6	90
19年度	19	8	3	4	23	40	0	0	5	102
20年度	30	7	4	2	27	53	0	1	8	132
21年度	32	7	8	4	16	43	0	1	4	115
22年度	34	9	7	9	30	36	1	0	11	137
23年度	45	3	12	5	30	24	1	0	3	123
24年度	35	6	10	4	24	12	2	1	12	106
25年度	36	2	10	8	33	30	3	1	12	135
26年度	22	3	7	1	22	32	1	0	13	101
27年度	33	7	20	7	24	50	8	0	12	161
28年度	35	10	9	6	27	65	5	0	64	221
29年度	31	7	13	7	29	65	4	0	25	181
30年度	11	8	5	5	30	91	0	0	21	171